

## 医療講演会報告

日時 2009年1月18日(日) 13時半～16時半

会場 郡山市労働福祉会館大ホール

参加人数 約170名

### 講演会概要

当日は天候にも恵まれ、開場予定時刻の13時を待たずに、ぽつぽつと来場者が受付をされておりました。

13時半より開会。

主催者、活動支援者のあいさつの後、佐々木先生の講演が始まりました。

「血管腫・血管奇形って、どんな病気？」というタイトルのもと、従来は「赤あざ」や「血管腫」などといわれる血管性病変に関しての大別が曖昧であったものが、最近では血管腫と血管奇形に分けて考えるようになり、それぞれに見合った治療をする方向に動き出していることが説明されました。

その後は、スライドで血管腫、血管奇形の症状を紹介しながら病気の実態、治療法などについて講演が進められました。

講演終了後は質疑応答に移り3名の方が質問され、佐々木先生からは的確なお答えをいただきました。当初の予定時間をオーバーしておりましたので、質問者は3名に絞らせていただきましたが、閉会後も佐々木先生のもとにはお話をお聞きしたい方の列が伸びておりました。

最後は、佐藤朋子事務局長より会の活動を報告して閉会となりました。

～主催者より一言～

講演会の開催を決めてから開会するまで、果たして何人の方が会場に来て下さるのが、とても不安でした。

しかし、幸いにも本当に多くの方のお力添えをいただき、予想をはるかに超える170名以上の方にご来場いただくことができました。170名という人数の多さにも驚いておりますが、患者さんとそのご家族、医療機関、難病連関係、行政機関、教育関係、議員さん方と多方面に渡る方々からご出席いただけましたことがとてもうれしく、有り難く思っております。

この度の講演をお引き受け下さいました佐々木先生、開催に際しお力をお貸し下さいました皆様、そして会場に足を運んで下さった方すべての方へ感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

福島県支部長 紺野 晶子

講演会写真

